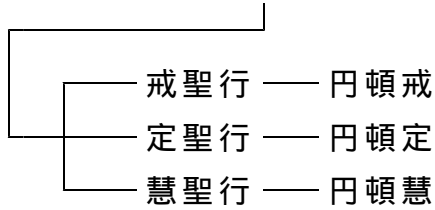
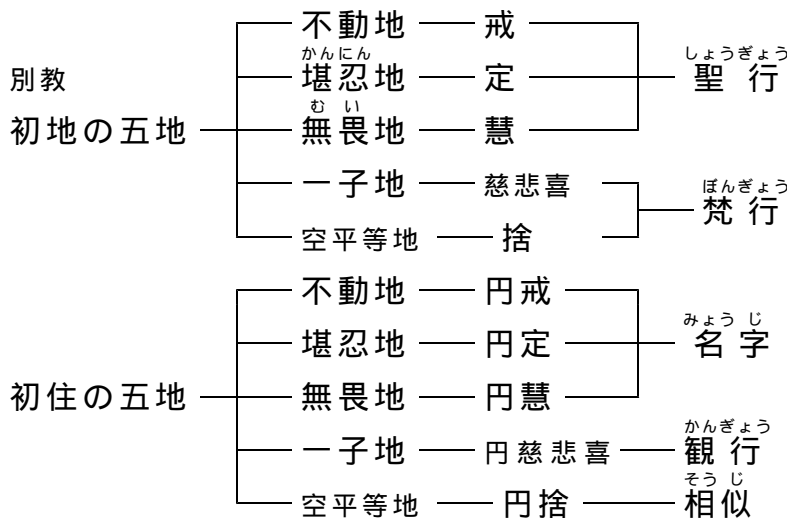


法師品に云はく「薬王其れ法華經を讀誦すること有らん者は、当に知るべし、是の人は仏仏とは如来なりの莊嚴しょうごんを以て自ら莊嚴するなり」と。



玄義げんぎの四に云はく「文に云はく、如来莊嚴而自莊嚴とは、即ち円の聖行しょうぎょうなり」と。法師品に云はく「如来の室に入り、如来の衣を著、如来の座に坐して、爾して乃し応に四衆の為に広く斯の經を説くべし」と。經釈に云はく「如来の室梵行の中の慈悲喜なりとは一切衆生の中の大慈悲心是なり」と。玄義に云はく「如来の室とは即ち円の梵行ぼんぎょうなり」と。法師品に云はく「如来の衣とは柔和にゅうわ行にんにく忍辱にんにくの心是なり」と。玄義の四に云はく「如来の衣に二種あり。柔和は即ち円の嬰兒行びょうぎょうなり。忍辱は即ち円の病行びょうぎょうなり」と。法師品に云はく「如来の座とは一切法空是なり」と。玄義の四に云はく「如来の座とは即ち円の天行なり」と。

十信、十住、十行、十回向



天行は、二地已上。
嬰兒行・病行は、五地の菩薩、天行の菩薩の示現なり

日 蓮 花 押